

2025 年電波伝搬実験

JJ1SXA/池

2023 年、2024 年の2年連続で、筑波山に移動したが、今年は違う場所だと色々模索したが、中々見つかりません、何しろ、私の電波伝搬実験参加は、無線のロケーションの良さと共に、一泊して、温泉と酒を楽しむという条件があります、場合によっては、無線のロケーションは二の次になることもしばしばです(笑)

今回は、無線のロケーションを優先して、「八方ヶ原」を選んでみたが、近くの温泉というと「塩原温泉」ですが、八方ヶ原まで1時間くらいかかりそうです、9時本番開始に余裕を見て、現地に8時45分くらいまでに着くことを考えると、宿を7時45分には出なければいけない、一寸無理なスケジュールだ。

そこで止むを得ず、日曜日早朝出発、そして、その夜は温泉へという計画にしました、それなら、「塩原温泉」でなくてもと考えたら、「鬼怒川温泉」が浮かんだが、数年前に「関東モバイルHAM同好会」で行っているのので、その近くの「川治温泉」にしました。

肝心の伝搬実験の方は、2エリア「だるま山高原」に移動の、VWB局と交信できてうれしくなりましたが、0エリア「御岳スカイライン」移動のCTR局と交信できず残念でした、後、「渋峠」移動のRYF局、「野反峠」移動のWVR局とも交信できなかったが、それ以外は、うまく交信できてよかったです。

日曜日朝5時出発予定が、20分遅れでの出発となりました、自宅から、新青梅街道、岩倉街道と進み、圏央道・青梅IC～久喜白岡JCTから東北道と進み「矢板北PA・スマートIC」を出て、国道272号線「下太田」交叉点左折で、県道30号線・関谷街道、「泉交叉点左折で、県道56号線・八方道路に入れば、後は道なりに進行。

カーナビの設定は、「八方ヶ原」はピンポイントで設定できなかったのので、八方道路からの左折地点の一寸先にある「山の駅たかはら」で設定した、左折地点を見落としても一寸引き返せば良いのだ、実際には、左折地点はわかった。



山の駅「たかはら」

時間が8時半を過ぎても、240の信号が聞こえず、リグを覗いたら、周波数が240になっていない、固定していないリグを抱えて、周波数を修正しようとしたが、ここで大間

題、急カーブ連続の山道、車の大揺れで予期せず、複数のボタンに触ってしまい、何かわからない設定になってしまったようで、周波数の変更ができない。

悪戦苦闘をしているうちに現着、時間は8時50分、何とか周波数が240になったようで、LZT局の信号が59で飛び込んできた、本当にほっとした、折角時間前に現着できたのに、実験に参加できないのかと焦りまくりでしたが、結果は、前述の通りFBな伝搬実験でした。



「八方ヶ原」は「つつじ」の名所、実験終了後少し歩き回った後旅館へ、ひなびた温泉の宿ながら、「料理が売り」という宣伝文句通り、山菜がメインの懐石料理は美味しかった、また、燗をした地酒も最高でした。



「れんげつつじ」をバックに

(2025年6月記)